

I-13. 国際条約・機関における伝統医学の遺伝資源及び伝統的知識の

調査研究

Research of Genetic Resources and Traditional Knowledge of Traditional Medicine in International Treaties and Organizations

キーワード Key Word	国際条約・機関、伝統医学、遺伝資源、伝統的知識、知的財産
	International Treaties and Organizations, Traditional Medicine, Genetic Resources, Traditional Knowledge, Intellectual Property

1. 調査研究の目的

漢方や鍼灸等の日本の伝統医学を含む世界の伝統医学を取り巻く環境は日々刻々と変化しており、国際標準化機構 (ISO) での特定の伝統医学の標準化の動き以外にも、様々な国際条約や国際機関で、伝統医学に関する多様な議論が取り扱われている。生物多様性条約 (CBD) では、伝統医学に関わる遺伝資源と伝統的知識の Access と利益配分 (ABS) が議論され、世界知的所有権機関 (WIPO) で伝統的知識の議論が行われている。

本調査研究では、CBD 等の国際条約や国際機関での取決めに関わってきた外部識者の専門家 (国際法、知的財産法、国内法等) と国際条約や国際機関での伝統医学に関わる遺伝資源や伝統的知識の議論の最新の動向を調査し、CBD 等の国際条約や国際機関での、伝統医学に関わる遺伝資源や伝統的知識等の国際条約や取決めに関する、平成 27 (2015) 年度に於ける最新の動向を把握した。

2. 調査研究成果概要

(1) 調査研究の構造

本調査研究の方法は3項目から成り、概要は以下の通りである。

CBD 等の遺伝資源や伝統的知識等の国内の外部識者の専門家への現状説明と協力要請を行い、伝統医学に関する生物多様性条約、伝統医学に関する遺伝資源や伝統的知識等のシンポジウムを開催し、各専門家会議やセミナー、各専門家の資料等の情報を、紙媒体や Web 等から収集し、CBD 等の国際条約や国際機関での、伝統医学に関わる遺伝資源や伝統的知識の現状に関してまとめた。

- ① CBD 等の遺伝資源や伝統的知識等の国内の外部識者の専門家への現状説明と協力要請。
- ② 伝統医学に関する CBD、遺伝資源、伝統的知識等のシンポジウム開催。
- ③ 各専門家会議やセミナー、各専門家の資料、Web 等からの情報収集。

(2) 調査の内容

- ① CBD 等の遺伝資源や伝統的知識等の国内の外部識者の専門家へ、日本の伝統医学の概況の説明と本調査研究への協力要請を行った。
- ② 外部識者の専門家と、シンポジウムを開催し、生物多様性条約、伝統的知識等の国際条約や取決めに関する最新の動向の情報を収集、把握し、日本の伝統医学の専門家との関係性の構築を行った。

- ③ 平成 27 年度国内で開催された CBD, 伝統的知識等の国際条約や取り決めに関する各専門家会議やセミナー等の会合での各専門家の資料, Web 等から情報を収集し, CBD, 伝統的知識等の国際条約や取り決めに関する最新の動向について把握した。

(3) 主な成果

- ① CBD 等での遺伝資源や伝統的知識等の国内の外部識者の専門家へ, 日本の伝統医学の概況の説明と本調査研究への協力要請を行い, 外部識者の専門家から協力を得られた。更に, 生薬の国内生産の現状に関する外部識者として, 日本国内での生薬栽培の産業化に関わっている日本の漢方の専門家と, 鍼灸用針の国外の法規制(レギュレーション)の現状に関する外部識者として, 日本国内の鍼灸針生産メーカーで鍼灸針生産の品質管理に携わっている専門家から協力を得られた。
- ② 遺伝資源や伝統的知識等の国内の外部識者の専門家と, 伝統医学に関する CBD, 遺伝資源, 伝統的知識等のシンポジウムを開催し, 生物多様性条約, 伝統的知識等の国際条約や取り決めに関する最新の動向の情報を収集, 把握し, 外部識者の専門家と日本の伝統医学の専門家との関係性の構築を行った。遺伝資源や伝統的知識等の国内の外部識者の専門家と, 日本国内での生薬栽培の産業化や日本国内の鍼灸針生産メーカーで鍼灸針生産の品質管理に携わっている外部識者を交え, 伝統医学に関する CBD, 遺伝資源, 伝統的知識等のシンポジウムを開催するに当たり, 事前準備として, 日本と海外の伝統医学に関する共通認識を得るための会議を 3 回開催した。
- ③ 平成 27 年度国内で開催された CBD, 伝統的知識等の国際条約や取り決めに関する各専門家会議やセミナー等の会合での各専門家の資料, Web 等から情報を収集し, 生物多様性条約, 伝統的知識等の国際条約や取り決めに関する最新の動向について把握した(3 回シリーズのセミナー1つと1 回シリーズのセミナー8 つの, 合計 9 つセミナーが, 平成 27 年度中に国内で開催された)。
- ④ ①～③を踏まえ, 本調査研究に CBD 等での遺伝資源や伝統的知識等の国内の外部識者の専門家から協力を得られたのは, CBD 等での遺伝資源や伝統的知識の議論で, 絶えず資源国から伝統医学に関する事柄が俎上に上るので, 彼らも日本の伝統医学の現状を把握したかったからである。また, 日本国内での生薬栽培の産業化や鍼灸針生産メーカーで鍼灸針生産の品質管理に携わっている外部識者にとっても, 日本の伝統医学を取り巻く俯瞰的国際情勢の現状を把握したかったからである。これらは, CBD 等での遺伝資源や伝統的知識等の専門家と漢方や鍼灸を含めた日本の伝統医学界が, 殆ど交流することなく, 今日に至って来たことを物語っている。日本の伝統医学を取り巻く国際情勢は, 遺伝資源, 伝統的知識, 文化資源, 知的財産の問題等, 特定の国際機関や国際条約での議論ばかりではなく, 多岐に亘る国際機関や国際条約での議論と複雑に絡み合っていることは明白となった。今日の複雑に絡み合い, 多岐の分野に亘る伝統医学を取り巻く国際情勢は, 既に単独の国際機関や国際条約で解決できる事柄ではない。また, 各国際機関や条約が扱う事柄, 各国際協定・国際文書と重複し, 今後は其々の国際機関や条約での各国際協定・国際文書に序列を付けず, 各国際機関や条約で議論された結果を踏まえた上で, 其々の国際機関や条約での議論が相互補完的に進むと考えられる。これら多岐に亘る国際条約や国際会議で議論されている伝統医学に関わる事柄に個別にのみ対応するのではなく, 有機的且つ総合的, 俯瞰的に捉え, 問題解決に当らなければならないのが現状であると考えられる。